



まつもと じゅん

松本純

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治瓦版

平成20年2月1日号
発行 かながわ1区支部
編集長 平木 茂

2月号
2008年
No.60

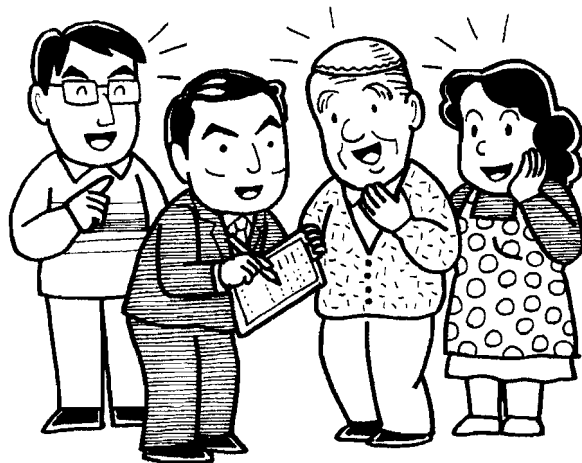
松本純ホームページ 毎日更新中！ [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

「夢があれば生きられる。夢が持てる社会を！」

「為公会」のアンケート調査に寄せられた政治への要望

私たちの政策集団「為公会」では、神奈川県（中区・磯子区・金沢区）の自治会長・町内会長の皆さんを対象にアンケート調査を行っています。年金やその財源問題、ガソリン税などについてご意見をうかがい、今後の政策づくりに生かすためです。

その結果は、3月3日に開かれる「新春合同総会・懇親会」で、為公会の麻生太郎会長から正式に発表されます。皆さんのご協力に感謝するとともに、一足先に「政治への要望」の一部を中間報告します。



「現在の国政は日本の将来をどうするかを論じていない」。多くの人が現在の政治を厳しく批判しています。「政局に終始している」「衆参のネジレに過剰反応しているのではないか」「自民党再生のために社会保障や安全保障などで保守政党としての襟度を示すべきだ」。皆さんの苛立ちがストレートに伝わってきます。

「学歴・学力の向上だけでなく、ごく一般的な常識を小中学校で教えて」。教育問題に関する要望は痛烈です。自治会の運営を通して気づいたというある会長さんの「住民のモラルの低下が日常的に感じられる」という述懐には強い危機感が感じられました。

新春合同総会及び 懇親会のお知らせ

日時●3月3日（月）午後6時開会
会場●ロイヤルホールヨコハマ
2階「ベルサイユ」
会費●3,000円
ゲスト●麻生太郎前自民党幹事長

主催 自民党神奈川県支部
共催 松本純後援会 横浜市都政策懇話会
すみれ会 松本純薬剤師中央後援会

「年金財源にしても他の財源にしても増税を安易にすべきではない」「年金給付額が年間150～120万円の一人暮らしの高齢者がおおぜいいます。物価高で食事を2回にしている人もいるくらいです」「地域に高齢者が多いため福祉の充実をお願いします。特に病院・医師の不足解消を」。生活に関わる要望は深刻度を増しています。

そんな中で「夢があれば生きられる。夢が持てる社会を！」と書かれた会長さんがいました。まさに今、政治につきつけられている課題を凝縮した言葉だと感じました。アンケート調査は現在も続けています。ご協力をよろしくお願いします。

平成20年

【1月14日(月)】

- 午前11時 ●横浜吟友会・六浦吟詠会初吟会
- 屏風浦地区連合町内会賀詞交換会
- 正午 ●野毛2丁目町内会新年会
- 午後5時 ●岡村地区連合町内会新年会
- 午後6時 ●神奈川個人タクシー協同組合
磯子支部新年賀詞交歓会

【1月15日(火)】

- 午前8時 ●テロ特措法に関する合同部会
- 午前10時 ●副幹事長会議
- 午後1時45分 ●代議士会
- 午後2時 ●本会議
- 午後2時15分 ●国土交通省公園緑地課長から説明聴取
- 午後2時25分 ●国交省観光地域振興課室長から説明聴取
- 午後6時30分 ●県自動車整備振興会・政治連盟磯金
支部賀詞交歓会

【1月16日(水)】

- 午前11時 ●厚生労働省大臣官房総務課長から説明聴取
- 午後1時10分 ●横浜国道事務所長から説明聴取
- 午後1時30分 ●厚労省年金局企画官から説明聴取
- 午後2時 ●全国幹事長会議
- 午後5時30分 ●日本薬剤師会新年賀詞交歓会
- 午後6時30分 ●空手道拳流館武道始め会
●吉田町町内会・名店街会賀詞交換会
- 午後7時30分 ●杉田十日会商店街新年会

松本議員の国会レポート④

県内の詩吟団体は昨年春、大きな組織の再編成が行われ、横浜吟友会(黒澤岳昇会長)は六浦吟詠会(黒澤会長)、岳声横堀会(諏佐岳峭会長)、日揮吟詠会(安藤岳鵬会長)の3団体で新たに組織化されました。中でも六浦吟詠会の歴史は古く、今年で44年目を迎えるそうです。少し遅れて出席したので、会長さんらによるご範吟を聴くことができなかったのは残念でしたが、明るく元気な皆さんの笑顔を拝見し、今年もおおいにご活躍されるだろうと思いました。

政府は国土交通省の外局として観光庁を設置する法案を今通常国会に提出する予定です。日本を訪れる外国人旅行者を2010年までに1000万人にまで増やす「ビジット・ジャパン・キャンペーン」や観光によって地域を活性化し、それを通じて観光立国を実現しようとする政策などを一体的に推進するためです。現在国交省にある6課の観光担当部局を移して再編成する予定ですが、政府は法案の成立を経て、今年10月の発足を目指しています。

平成19年の県内の全交通事故のうち、自転車かららむ人身事故は全体の22%を占めるそうです。そこで国土交通省と警察庁では県内5カ所をモデル地区に指定し抜本的な自転車事故防止策を進めることになりました。そのひとつである金沢区富岡東では、歩道上で歩行者と自転車が接触する危険を排除するため、全長230mの自転車道を整備する計画です。これによって事故の減少が図られ、自転車の利用がさらに拡大すれば環境対策にも役立つこととなります。



▲1/8 中区元町SS会新年賀詞交歓会にて、三藤理事長ら執行部の皆さんと



▲1/11 中区箕沢台自治会の新年会にて、国県市の各議員と意見交換が行われました



▲1/14 44年の歴史を誇る横浜吟友会・六浦吟詠会初吟会にて



▲1/14 磯子区岡村地区連合町内会の新年会にて、力強い団結力が感じられました

永田町日記 10数年ぶりの健康診断。さて結果は…

衝撃的だった安倍晋三・前総理の突然の辞任。その最大の理由は健康問題だったと、安倍さん自身が雑誌に寄せた手記で告白しています。だから、というわけでもないのですが、実に10年以上もさぼっていた健康診断を昨年暮れに受けました。第1日目は心臓・肺・肝臓・すい臓・胆嚢の検査。「中性脂肪に関心をもつように」という先生の注意はありましたが、まずはクリア。問題はその後3日間の胃・大腸の内視鏡検査。この検査のために前夜、下剤を飲まなければならなかったのですが、おかげで夜中に5回のトイレ通い。当日も病院で1時間半かけて1.5リットルの下剤を飲み、またまたトイレに駆け込むこと5、6回。そして麻酔をかけて、いざ本番。どのくらい時間がたったのか、検査が終わって待合室まで、看護師さんの支えなしでは歩けないという状態でした。とりあえずの結果は、胃袋の一部に軽い潰瘍や凹みがあるものの「問題なし」とのこと。さすがにホッとしました。これで心おきなく政治に全力投球できるというのですが、これからは体の手入れにも十分気を使うことにします。(純)

まつもと じゅん プロフィール▶昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ▶本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む▶平成2年～横浜市議(3期)▶平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かし医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人▶平成12年～総選挙で次点落選▶平成15年～衆議2期目。総務大臣政務官に就任。▶平成17年～衆議3期目。総務大臣政務官に再任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国の形をつくるため奮闘。▶平成17年11月～議院運営委員会理事、国会対策委員会副委員長として国会運営等に取り組む。▶平成18年9月～安倍内閣で自民党副幹事長に▶平成19年6月～自民党横浜市連会長▶平成19年8月～安倍改造内閣で自民党副幹事長に再任。▶平成19年9月～福田内閣で自民党副幹事長に留任。